

イチゴの病害虫の発生状況（11月上旬）

1 うどんこ病

発生ほ場割合は平年並でした（図1）。まん延すると防除が困難になるので、発生初期から防除を徹底してください。

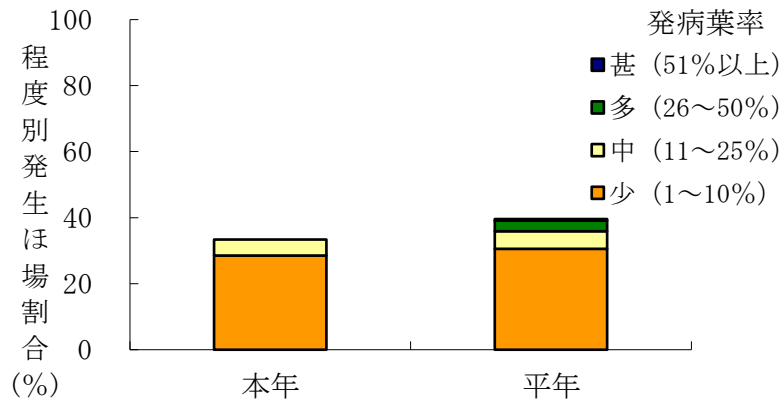


図1 うどんこ病の発生状況

2 土壌病害（炭そ病・萎黄病）

発生ほ場割合は平年並でした（図2）。巡回調査では炭そ病が確認され、育苗時に発生し、本ぼに持ち込まれたと考えられます。発病株および発病が疑われる株は速やかに抜き取り、ほ場外に持ち出し、適切に処分してください。

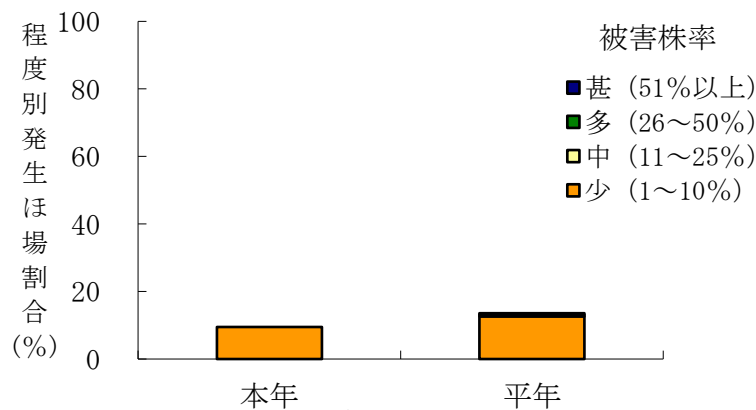


図2 土壌病害の発生状況

3 アブラムシ類

発生ほ場割合は平年並でした（図3）。低密度時から薬剤防除を実施してください。

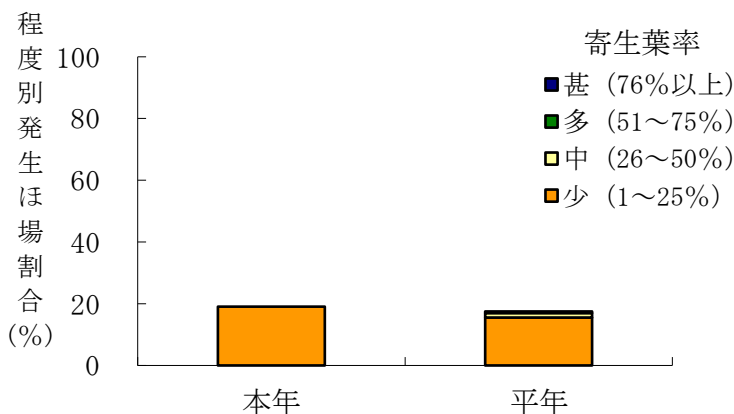


図3 アブラムシ類の発生状況

4 ハダニ類

発生ほ場割合は平年並でした（図4）。今後気温が高くなることを見込まれるので、早期発見に努め、低密度時から防除を実施してください（令和3年10月12日付け防除情報参照）。

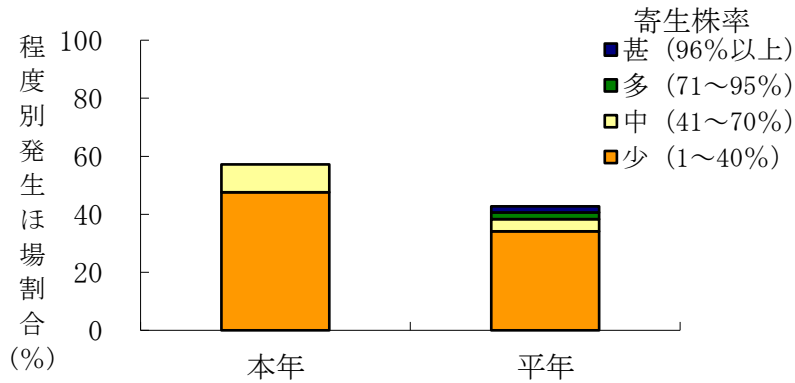


図4 ハダニ類の発生状況

5 コナジラミ類

発生ほ場割合は平年並でした（図5）。密度が高くなるとすす病発生の原因となるので、低密度時から防除を実施してください。

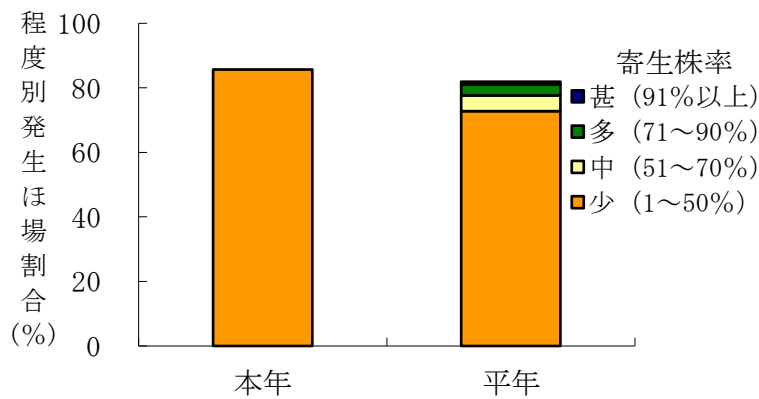


図5 コナジラミ類の発生状況

6 ハスモンヨトウ

発生ほ場割合は平年並でした（図6）。成虫の飛来、産卵は11月上旬頃まで続くので、ほ場をよく観察し、寄生や被害が見られた場合は、速やかに防除を行ってください（令和3年9月27日付け防除情報参照）。

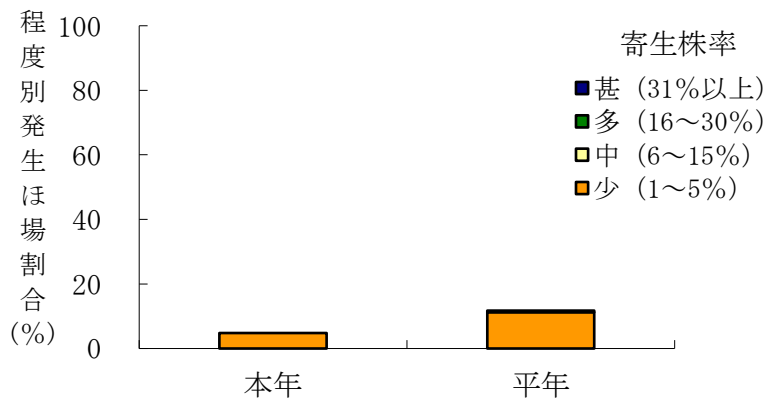


図6 ハスモンヨトウの発生状況

● 情報内容への質問や要望は、福島県病害虫防除所まで御連絡ください。